

「今、伝えたい、大切なことば」としてこれからは、『有難う』の心を大事にして行きたいと思っています。さて、お待ちかねのアトラクションは由紀さおり・安田祥子姉妹のコンサートです。

由紀さおりは群馬県桐生市出身で、童謡歌手としてデビュー後、1969年に出した「夜明けのスキヤット」が大ヒットし、その後「手紙」「生きがい」「恋文」などを次々にヒットさせた歌手ですが、最近姉の安田祥子さんと童謡コンサートを続けているようです。

今もまったく衰えを知らないさわやかな声で童謡メドレーをたつぷりと聞かせていただき、また曲の合間のト―

題材法話

本年もこうして仏壯総会を
迎えられるましたこと、有
り難いことと存じます。

○ある貧乏寺出身者の話

北海道函館市の貧しい寺
に生まれた方のお話です。寺
に、この人は戦後間もない頃
で働いていたのですが、そ
のうちは夢を抱いて東京へ
向かいました。

ところが上京したけれど
も、なにもかもが上手く
なく、生活さえもままなら
なくになりました。

仕方なく、自分の血を
って生活をするまでになる
のです。

手術の時に血液が足ら
くなる患者がいれば、その
人に血を提供し、その家族
から5円、7円という謝礼
をもらうのです。

ある日、ある患者に血液
を提供するため採血を終え
て、病院の一室で体を休め
ていた時のことです。

隣の部屋から、その患者
の家族が相談する声

が聞こえてきました。
それは「どうしよ



う、お礼するお金がない。
どうしよう」という声だっ
たのです。

その声を聞いたとたん、
故郷のお母さんの顔が浮か
んできたそうです。

その人のお母さん、つま
り貧乏寺の坊主さんは、と
ても素晴らしい人だったの
です。

そのお母さんは、貧乏で
寝る布団さえ質に入れない
ればならぬ暮らし

の中で、寺に集まってくる
お供え物を、戦後には沢山
おられた路上生活者達に、
いつも分け与えておられた
のです。

その人は、そのお母さん
のことを思い出した途端、
そつと足音がしなくなった
下駄を胸に抱き、はだしで
廊下を走り、病院を立ち去
ったそうです。

自分自身が、自分の血さ
え売らなければ生活できな
い状況なのに、自分の母親
の姿を思い出した途端に、
隣の部屋で「どうしよう」
と悩んでいる家族に気づか
れることなく、立ち去った
のです。

○世の中の傘になれ

さてこの人は、い



ったい誰でしょう？

おふくろさんよ

お前もいつかは世の中の

傘になれよと

教えてくれた

あなた

真実

そう

歌

作詞家である川内康範氏の

若き日のエピソード

「何年か前に、森進一が、

「おふくろさん」の歌詞を

変えて歌ったことに、この

川内康範が激しく怒り、

「森進一には二度と歌わせ

ない」といつて話題になり

ました。

あの時ほとんどの人が、

「なにもそこまで云わなく

てもよいのでは・・」と

思ったことでした。

けれども実は、「おふく

ろさん」という詩には、川

内康範の人生の涙と血で

書かれた特別な思い入れが

あったということなのでし

す。

○懐かしの大ヒーロー

くこの川内康範がつ



のがあります。

それは、私たち世代にとつ

ての大ヒーロー『月光仮面』

の原作者なのです。

このことに関して、龍谷大

学国際文化学部の嵩満也教授

が講演会でとても面白いこと

を話しておられるので紹介し

ます。

まずこの月光仮面は、川内

康範が「仏教的な精神に基

いたヒーローをつくりたい」

と考えて作り上げたヒーロー

だということです。

ではどこが「仏教的な精神

に基づくヒーロー」なのかで

すが、まず「月光」という名

前です。

仏教では「仏のはたらき」

はいろんなものにたとえられ

ますが、「一月」も仏さまの真

実のはたらきをあらわすもの

として、よく使われます。

例えば正信偈には「超日月

光照塵刹」と出てきます。讃

仏偈には「日月摩尼」とあり

ます。和讃にも「光明月日に

勝過して」などあります。

これらのすべて、仏さんの

智慧の光の働きを、お日様や



お月様の光にたとえて
示しています。以下次号
梅鶯仏壯総会住職法話より